

令和2年度 福島県政世論調査 調 査 票

I 復興等に関する情報発信について

福島県では、復興やふくしまからはじまる新しい取組に関する情報を分かりやすくお伝えするため、県民の皆さんにどのように情報が伝わっているかなどをお伺いし、今後の情報発信に役立ててまいります。

問1 震災・原発事故や復興について、あなたはどのような情報を知りたいですか。
あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 食品や農産物の安全性確保についての取組・モニタリング情報
- 2 放射線の健康への影響や健康管理に関する情報
- 3 除染の進捗などの状況
- 4 復興へ向けた取組
- 5 安心して子育てできる環境づくりへの取組
- 6 被災者支援に関する情報
- 7 賠償に関する情報
- 8 産業（工業、商業、農林水産業など）の復興に関する情報
- 9 廃炉に向けた取組や現状に関する情報
- 10 特にない
- 11 その他（具体的に： _____)

問2 本県の復興の状況や新しい取組に関する情報については主に何で入手していますか。
あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 新聞
- 2 テレビ・ラジオのニュースなど
- 3 インターネット（行政以外のページ）
- 4 インターネット（県のホームページ、フェイスブック、ツイッターなど）
- 5 県の広報（広報誌、テレビ、ラジオなど）
- 6 市町村の広報（広報誌、テレビ、ラジオ、ホームページなど）
- 7 国の広報（テレビ、ラジオ、印刷物、ホームページなど）
- 8 行政以外の印刷物
- 9 口コミ
- 10 その他（具体的に： _____)

問3 あなたは、県の広報活動に満足していますか。

ア～ケについて、それぞれ1～5の中であてはまるもの1つに〇をつけてください。

			満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば満足していない	満足していない	見た（聴いた）ことがないのでわからない
ア	広報誌	つながる ふくしま ゆめだより	1	2	3	4	5
イ	新聞	県政特集（福島民報・福島民友）	1	2	3	4	5
ウ	テレビ	キビタンGO！ （福島テレビ：毎週水曜日 20:54～20:58）	1	2	3	4	5
エ		ふくしまチャレンジ情報館 （福島中央テレビ：毎週土曜日 20:54～20:57）	1	2	3	4	5
オ	ラジオ	キビタンスマイル （ふくしまFM：毎週月～金曜日 17:30～17:35）	1	2	3	4	5
カ	インターネット	県ホームページ	1	2	3	4	5
キ		Facebook（フェイスブック） 「ふくしまから はじめよう。」	1	2	3	4	5
ク		Instagram（インスタグラム） 「ふくしまから はじめよう。」	1	2	3	4	5
ケ		YouTube（ユーチューブ） 「福島県公式チャンネル」	1	2	3	4	5

問4 あなたは、県外の方に、福島県のどのようなことを伝えるべきだと思いますか。
あてはまるもの3つまで〇をつけてください。

- | | |
|---------------------------------|---|
| 1 農産物や県産品の安全性 | |
| 2 被災者の生活状況、被災者の声 | |
| 3 復興に向けてがんばる県民の姿 | |
| 4 農産物や県産品の魅力 | |
| 5 除染の進捗状況 | |
| 6 震災の被害及び復旧・復興の状況 | |
| 7 震災後の応援に対する感謝の気持ち | |
| 8 放射線のモニタリング情報 | |
| 9 観光情報、来県の呼びかけ | |
| 10 再生可能エネルギーやロボット産業などにおける先進的な取組 | |
| 11 県内外で開催される本県関係のイベント情報 | |
| 12 特にない | |
| 13 その他（具体的に： | ） |

Ⅲ 安全で安心な県づくりについて

福島県では、「福島県安全で安心な県づくりの推進に関する条例」に基づき、真に安心できる暮らしの実現に向けて各種施策を行うこととしています。県民の皆さんに「安心」をどのように実感しているのかについてお伺いし、今後の安全安心に関わる各種施策に役立ててまいります。

問8 次にあげたア～キの項目について、あなたは現状をどのように感じていますか。それぞれ1～5の中であてはまるもの1つに○をつけてください。

	はい	「はい」 どちらかといえば	・該当しない どちらとも言えない	「いいえ」 どちらかといえば	いいえ
ア あなたの住む地域は、自然災害や大規模な火災などに対して、安心して暮らせる災害に強い地域だと思いますか。	1	2	3	4	5
イ あなたは、福島第一原子力発電所事故の発生により、長期にわたる健康不安を感じていますか	1	2	3	4	5
ウ あなたの住む地域は、児童、配偶者、高齢者、障がい者などに対する虐待や暴力がなく、安心して暮らせる地域だと思いますか。	1	2	3	4	5
エ あなたの住む地域は、交通事故がなく安心して暮らせる環境が整っていると思いますか。	1	2	3	4	5
オ あなたは、住んでいる地域の夜間や休日の救急診療に不安を感じていますか。	1	2	3	4	5
カ あなたは、毎日の食生活において食品の安全に不安を感じることなく安心して暮らしていますか。	1	2	3	4	5
キ あなたの住む地域は、水や大気など生活環境の安全が確保されていると思いますか。	1	2	3	4	5

※平成23年3月11日に発生した東日本大震災及びそれに伴う福島第一原子力発電所事故に伴い避難されている方につきましては、「あなたの住む地域」について、以下により回答してください。

- ・福島県内に避難されている方 → 現在お住まいの地域の状況を回答してください。
- ・福島県外に避難されている方 → 避難する前に住んでいた地域の状況を回答してください。

IV 県総合計画について

福島県では、30年後の未来を展望して策定した総合計画「ふくしま新生プラン」に基づき、基本目標「夢・希望・笑顔に満ちた“新生ふくしま”」の実現に向け取り組んでいます。

県民の皆さんの考えをお伺いし、総合計画の評価・検討に活用してまいります。

問9 次にあげたア～ネの項目について、あなたは現状をどのように感じていますか。それぞれ1～5の中であてはまるもの1つに〇をつけてください。

	はい	「はい」 どちらかと言えば	どちらとも言えない ・該当しない	「いいえ」 どちらかと言えば	いいえ
ア あなたは、福島県内で子育てを行いたいと思いますか（あなたが親の立場に立ったと仮定してご回答願います）。	1	2	3	4	5
イ あなたは、福島県の教育環境に満足していますか（あなたが親の立場に立ったと仮定してご回答願います）。	1	2	3	4	5
ウ あなたは、文化活動やスポーツ活動に積極的に参加していますか（鑑賞を含む）。	1	2	3	4	5
エ あなたは、住民やNPOなどによる地域活動に積極的に参加していますか。	1	2	3	4	5
オ あなたは、自然と伝統が残る農山漁村地域を大切にしたいと思いませんか。	1	2	3	4	5
カ 県は、原子力災害の被災地域の復興・再生に向けて、十分な取組を行っていると思いませんか。	1	2	3	4	5
キ あなたは、地元産の食材を積極的に使用していますか。	1	2	3	4	5
ク 県内には、あなたが魅力を感じる企業がありますか。	1	2	3	4	5
ケ あなたは、日常生活で、再生可能エネルギー（太陽光など）を利用したいと思いませんか。	1	2	3	4	5
コ あなたは、現在の職業や仕事に満足していますか。	1	2	3	4	5

	はい	どちらかと言えば「はい」	どちらとも言えない・該当しない	どちらかと言えば「いいえ」	いいえ
サ あなたは、国内外の友人・知人に対して、自信を持って紹介できる地元のもの（自然、特産品、観光、文化など）がありますか。	1	2	3	4	5
シ あなたの住む地域では、交通ネットワークや情報基盤が十分に整備されていますか。	1	2	3	4	5
ス あなたは、生活習慣病などの対策のため、健康診断を受診していますか。	1	2	3	4	5
セ あなたの住む地域では、身近なところで、必要な医療を受けることができますか。	1	2	3	4	5
ソ あなたの住む地域では、家庭や身近な施設で、必要な福祉サービスを受けることができますか。	1	2	3	4	5
タ あなたは、食品や日用品など、消費生活に関して不安を感じることなく、安心して暮らしていますか。	1	2	3	4	5
チ あなたは、放射線から安心できる生活空間で暮らしていると思いますか。	1	2	3	4	5
ツ あなたは、大規模災害に備えて、避難場所の確認や食料の備蓄などを行っていますか。	1	2	3	4	5
テ あなたの住む地域では、女性の社会参画が進んでいると思いますか。	1	2	3	4	5
ト あなたは、日頃、人と人の支え合いや絆を実感していますか。	1	2	3	4	5
ナ 福島県は、自然が豊かで、美しい景観があると思いますか。	1	2	3	4	5
ニ あなたは、日頃、省エネルギーや地球温暖化防止を意識した取組を行っていますか。	1	2	3	4	5
ヌ あなたは、今住んでいる地域が住みやすいと思いますか。	1	2	3	4	5
ネ あなたは福島県の復興が進んでいると思いますか。	1	2	3	4	5

V 福島イノベーション・コースト構想について

福島県では、福島イノベーション・コースト構想*を推進し、浜通り地域等の産業基盤の再生に取り組んでおります。各取組に関連した以下の項目について、県民の皆さんの考えをお伺いし、今後の施策に役立ててまいります。

問 10 福島イノベーション・コースト構想について、あなたはどのような取組を知っていますか。

あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 原子力発電所の廃炉に向けた取組
- 2 ロボット産業を活発にするための取組
- 3 新エネルギーの利用を増やし、環境・リサイクル産業を集めるための取組
- 4 農林水産業を再生するために新しい技術を広める取組
- 5 医療関連、航空宇宙で利用できる技術を支える取組
- 6 子どもの教育や地域の働き手を育てるための取組
- 7 福島イノベーション・コースト構想の情報や原子力災害等の教訓を広める取組
- 8 その他 ()
- 9 特にない

※【参考】福島・国際研究産業都市(イノベーション・コースト)構想とは

福島イノベーション・コースト構想は、東日本大震災と原子力災害によって大きな被害を受けた浜通り地域等の産業を回復するため、この地域を新たな産業が次々と生まれる場所になることを目指すものです。

構想を実現するために、以下の分野を中心に取り組んでいます。

・原子力発電所の廃炉に向けた取組

廃炉国際共同研究センター（富岡町）での研究開発、地元企業を廃炉産業へ参入しやすくするための取組など

・ロボット産業を活発にするための取組

福島ロボットテストフィールド（南相馬市）を活用したロボット・ドローン等の実証実験など

・新エネルギーの利用を増やし、環境・リサイクル産業を集めるための取組

福島水素エネルギー研究フィールド（浪江町）での研究開発など

・農林水産業を再生するために新しい技術を広める取組

自動運転トラクター、ドローンによる農薬散布など

・医療関連、航空宇宙で利用できる技術を支える取組

健康状態の分析・確認ができる衣類の開発、空飛ぶクルマの開発など

・子どもの教育や地域の働き手を育てるための取組

ふたば未来学園（広野町）での教育活動、大学や地元企業等の力を借りた特色ある教育プログラムなど

・福島イノベーション・コースト構想の情報や原子力災害等の教訓を広める取組

ホームページやSNS*での情報発信、東日本大震災・原子力災害伝承館（双葉町）など

※SNS ソーシャルネットワーキングサービス(Social Networking Service)の略で、登録している利用者同士がインターネットを通じて交流できるサービスのこと。

問 11 今後、福島イノベーション・コースト構想を進めていくために、県はどのような分野の取組を強化していけばよいと考えますか。

あてはまるもの3つまで〇をつけてください。

- 1 原子力発電所の廃炉に向けた取組
- 2 ロボット産業を活発にするための取組
- 3 新エネルギーの利用を増やし、環境・リサイクル産業を集めるための取組
- 4 農林水産業を再生するために新しい技術を広める取組
- 5 医療関連、航空宇宙で利用できる技術を支える取組
- 6 子どもの教育や地域の働き手を育てるための取組
- 7 福島イノベーション・コースト構想の情報や原子力災害等の教訓を広める取組
- 8 その他（）
- 9 特にない

問 12 今後、これらの取組をさらに進めるとともに、その効果がより地域の皆さんに届くようにするためには、どのような施策がよいと考えますか。

あてはまるもの3つまで〇をつけてください。

- 1 新製品を生み出すための研究と生産技術の開発を進めること
- 2 企業を呼び込むための環境整備と広報を行うこと
- 3 地域企業の技術力や経営力を高めるための支援を行うこと
- 4 産学官（民間企業、大学などの教育機関、行政機関）や企業同士が力を合わせる
こと
- 5 浜通り地域等での事業展開に関心のある人を呼び込むこと
- 6 人材の育成・確保（地元高校生へ地元で働くことの魅力を伝える活動や専門知識を持つ人材の呼び込みなど）をすること
- 7 構想についての情報を発信すること
- 8 その他（）
- 9 特にない

Ⅶ 水環境について

福島県では、新しい「福島県水環境保全基本計画」や「猪苗代湖及び裏磐梯湖沼水環境保全推進計画」の策定を進めています。県民の皆さんの水環境に関する意識についてお伺いし、計画策定に役立ててまいります。

問 16 あなたは、身近な「水」に関するア～サの項目についてどうお考えですか。それぞれ1～6の中であてはまるもの1つに○をつけてください。

	非常に満足 している	まあまあ満足 している	満足も不満も ない	少し不満を 感じる	非常に不満 を感じる	わからない・ 関心がない
ア 飲み水のおいしさ	1	2	3	4	5	6
イ 海や河川、湖沼などの水のきれいさ	1	2	3	4	5	6
ウ 水辺やその周辺のごみの少なさ	1	2	3	4	5	6
エ 河川の流れや湖沼などの豊富な水量	1	2	3	4	5	6
オ 地下水・湧水などの豊富な水量	1	2	3	4	5	6
カ 水辺の風景の美しさ	1	2	3	4	5	6
キ 水辺の動植物の豊かさ	1	2	3	4	5	6
ク 水道などの整備状況	1	2	3	4	5	6
ケ 下水道などの整備状況	1	2	3	4	5	6
コ 水辺の公園や散策路などの整備状況	1	2	3	4	5	6
サ 堤防・護岸整備などの治水対策	1	2	3	4	5	6

VIII ごみ対策について

福島県では、ごみの減量化や適正な処理を進めるための取組を行っています。県民の皆様のご「ごみ」対策に関する考えをお伺いし、今後の取組に役立ててまいります。

問 17 あなたは、「ごみ」に関するア～カの項目についてどうお考えですか。

それぞれ1～5（オとカは1～3）の中であてはまるもの1つに〇をつけてください。

	とても 関 心 が あ る	少 し 関 心 が あ る	ど ち ら で も な い	あ ま り 関 心 が な い	ま っ た く 関 心 が な い
ア ごみの減量					
1 ごみの分別	1	2	3	4	5
2 食品ロス*の削減	1	2	3	4	5
3 生ごみのたい肥化	1	2	3	4	5
4 レジ袋の有料化	1	2	3	4	5
イ 海洋プラスチックごみの 対策	1	2	3	4	5
ウ リサイクル製品の購入	1	2	3	4	5
エ 不法投棄・野焼き	1	2	3	4	5
オ お住まいの近くへのごみ 処理施設の設置	1 やむを得ない		2 どちらでもない		3 反対
カ 県外の工場から出たごみ の県内での処理	1 やむを得ない		2 どちらでもない		3 反対

※【参考】食品ロスとは

食べ残し、売れ残りや期限が近いなどの理由で、食べられるのに捨てられてしまう食品のこと。

Ⅸ 食育について

福島県では、第三次福島県食育推進計画に基づき各施策に取り組んでいます。県民の皆さんの「食育※」に対する認知度や取組状況をお伺いし、今後の施策に役立ててまいります。

問 18 あなたは、「食育」に関心がありますか、それとも関心がありませんか。
あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 関心がある
- 2 どちらかといえば関心がある
- 3 どちらかといえば関心がない
- 4 関心がない

問 19 朝食及び夕食を複数人でコミュニケーションをとりながら食べることはどのくらいありますか。
あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 週に14回以上
- 2 週に9～13回
- 3 週に5～8回
- 4 週に1～4回
- 5 週に0回

問 20 あなたは、日ごろから健全な食生活を行うために「食育」に関する活動や行動を実践していますか。
あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 朝食を必ず食べること
- 2 栄養バランスのとれた食生活
- 3 ベジ・ファースト（野菜から先に食べること）の実践
- 4 減塩の実践
- 5 より安全な食品の購入
- 6 食料自給状況に関する理解の向上
- 7 食生活の改善に関する勉強会への参加
- 8 農業生産・加工活動への参加
- 9 食に関わるボランティア活動への参加
- 10 食に関する伝統行事への参加
- 11 地域の伝統料理教室への参加
- 12 特にしていない
- 13 分からない

※【参考】食育とは

食育（しょくいく）とは、2005年に成立した食育基本法においては、「生きる上での基本であって、知育、徳育及び体育の基礎となるべきもの」と位置づけられており、様々な経験を通じて、食に関する知識と食を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てること。

XI 福島県総合教育計画について

福島県では、豊かな活力ある福島県を目指して、「第7次福島県総合教育計画」の策定を進めています。

県民の皆さんの教育に対する御意見をお伺いし、策定に役立ててまいります。

問23 次にあげたA～Cの項目について、あなたはどのように感じていますか。

A 福島県の教育に対する評価

それぞれ1～5の中で、あてはまるもの1つに○をつけてください。

	十分実践されている	どちらかといえば実践されている	どちらかといえば実践されていない	実践されていない	わからない
ア 基礎的な学力の定着を図る教育	1	2	3	4	5
イ 課題解決力や社会的実践力の育成	1	2	3	4	5
ウ 豊かな心を育む教育	1	2	3	4	5
エ すこやかな体を育む教育	1	2	3	4	5
オ ICTを活用した教育	1	2	3	4	5
カ 情報リテラシーや情報モラルに関する教育	1	2	3	4	5
キ 放射線・防災教育、震災の教訓の継承	1	2	3	4	5
ク 特色ある学校づくり（学校の特色化・魅力化）	1	2	3	4	5
ケ 教師の働き方改革	1	2	3	4	5
コ 不登校やいじめ、経済的な困難を抱えるなど多様な児童生徒への対応	1	2	3	4	5
サ 学校の安全性（災害、犯罪等への備え）	1	2	3	4	5
シ 学校と家庭・地域の連携	1	2	3	4	5
ス 地域を担う人材の育成（地域と協働した探究活動等）	1	2	3	4	5
セ 社会教育施設等での子どもや大人の学習機会の充実	1	2	3	4	5
ソ 障がいのある人もない人も「地域で共に学ぶ」教育	1	2	3	4	5

※【参考】ICT Information and Communication Technology の略で情報通信技術のこと。

情報リテラシー 情報機器やITネットワークを活用して、情報・データを管理、活用する能力のこと。

B 今後の教育施策で特に重要だと思ふものを次の中から選んでください。
あてはまるもの3つまで○をつけてください。

- 1 基礎的な学力の定着、課題解決力や社会的実践力の育成
- 2 豊かな心を育む教育（道徳教育、キャリア教育など）
- 3 すこやかな体を育む教育
- 4 ICTを活用した教育、SNSやインターネットなどの情報モラル教育
- 5 放射線・防災教育、震災の教訓の継承
- 6 特色ある学校づくり（学校の特色化・魅力化）
- 7 学校施設設備の学習環境の充実（ICT整備など）
- 8 意欲や熱意のある教職員の確保、教員研修の充実
- 9 教師の働き方改革
- 10 多様な教育的支援の充実（障がいのある子どもや不登校の子どもなど）
- 11 学校の安全性（災害、犯罪、いじめ等への備え）
- 12 学校と家庭・地域の連携
- 13 社会教育施設等での子どもや大人の学習機会の充実
- 14 障がいのある人もない人も「地域で共に学ぶ」教育
- 15 基本的な生活習慣を身に付けさせる取組（家庭、地域の教育力向上など）
- 16 福島イノベーション・コースト構想を担う人材育成をはじめとした復興・創生を担う人材育成
- 17 就学支援・奨学金など経済的支援の充実

※【参考】キャリア教育 一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てること。

C 学校では基礎学力の定着に加えて、子どもたちが変化の激しい社会で未来を担っていく上で必要な力を養成する必要があります。今後より一層取り入れていくべきと考える学び方を選んでください。
あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 NPOや企業と連携して地域や社会を体験し、実社会の課題を探究する活動の充実
- 2 遠隔教育を活用した海外のネイティブスピーカーや遠方の専門家と意見交換する活動の充実
- 3 ICTを活用した、社会の実情等を自ら調べ探究する活動の充実
- 4 グループ学習等により意見交換をしたり、年齢や障がいの有無を越えて交流したりする機会の充実
- 5 プレゼンテーションや論文をまとめること等により、自分の考えを発表する機会の充実
- 6 教員、専門スタッフ、地域ボランティア等を含めて、子どもの特性にあわせてきめ細かな指導を行う体制の整備
- 7 学びのスタイルを変える必要は特にない
- 8 その他（具体的に)

※【参考】NPO 特定非営利活動法人：特定の公益的・非営利活動を行うことを目的とする法人のこと。

XII 地域社会の安全・安心（治安）について

震災後、治安情勢の変化により、県民の皆さんが抱えている安全・安心に関する意識や要望などを調査し、犯罪抑止対策や検挙活動等の効率的な推進に役立ててまいります。

問24 現在あなたが住んでいる地域(仮設住宅・借り上げ住宅も含む)の治安は良いと思いますか。

あてはまるもの1つに○をつけてください。

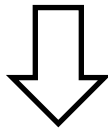
- | | |
|---------|--------------|
| 1 良い | } (問 24-1 へ) |
| 2 悪い | |
| 3 変わらない | |
| 4 わからない | |

(問 24 で、「1 良い」又は「2 悪い」とお答えの方のみにお尋ねします。)

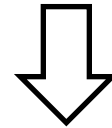
問24-1 問24で、良い又は悪いと思う理由は何ですか。

どちらかの枠の中から、あてはまるもの3つまで○をつけてください。

【良いと思った方】



【悪いと思った方】



※ 両方の枠を選ぶことはできません。

- | |
|------------------------------|
| 1 犯罪の被害に遭った人が身近にいない |
| 2 町内会の人や巡回や防犯ボランティアの姿をよく見かける |
| 3 パトカーや警察官の姿をよく見かける |
| 4 隣近所とのコミュニケーションが図られている |
| 5 犯罪発生ニュース等を聞かなくなった |
| 6 地域住民の防犯意識が高まった |
| 7 その他(具体的に:) |

- | |
|--------------------------------|
| 8 犯罪の被害に遭った人が身近にいる |
| 9 町内会の人や巡回や防犯ボランティアの姿をあまり見かけない |
| 10 パトカーや警察官の姿をあまり見かけない |
| 11 隣近所とのコミュニケーションが図られていない |
| 12 犯罪発生ニュース等をよく聞くようになった |
| 13 地域住民の防犯意識が希薄になった |
| 14 その他(具体的に:) |

(全員にお尋ねします。)

問25 犯罪の発生状況や犯罪を未然に防止する方法等の情報について、どのような形で提供されるのがよいと思いますか。あてはまるもの3つまで〇をつけてください。

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1 各種防犯研修会の開催 | 6 ラジオ放送による広報 |
| 2 警察官の訪問による具体的な助言活動 | 7 新聞への定期的な掲載 |
| 3 防犯広報紙の配布 | 8 携帯端末等へのメール配信 |
| 4 県警察ホームページへの掲載 | 9 その他() |
| 5 テレビ放映による広報 | 10 わからない |

問26 犯罪に関するどのような情報が知りたいですか。

あてはまるもの3つまで〇をつけてください。

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1 自分の住んでいる地域の犯罪情報 | 7 多発している犯罪の手口や傾向 |
| 2 市町村単位の犯罪情報 | 8 なりすまし詐欺に関する情報 |
| 3 福島県全体の犯罪情報 | 9 来日外国人の犯罪情報 |
| 4 全国の犯罪傾向 | 10 インターネットに関する犯罪情報 |
| 5 学校や幼稚園周辺の犯罪情報 | 11 防犯設備・防犯グッズ等の情報 |
| 6 少年非行の現状 | 12 その他() |

問27 安全・安心な地域社会をつくるため、警察にどのような活動を強化してほしいと考えますか。

あてはまるもの3つまで〇をつけてください。

- | |
|------------------------------|
| 1 犯罪の検挙活動 |
| 2 犯罪の抑止活動 |
| 3 パトロール等街頭活動(被災地等における活動を含む。) |
| 4 巡回連絡(家庭等の訪問活動) |
| 5 緊急事案に対する迅速な対応 |
| 6 交通取締り等の交通事故の抑止活動 |
| 7 犯罪・事故被害者に対する支援 |
| 8 事件・事故に関する情報発信 |
| 9 警察安全相談の充実 |
| 10 意見・要望への的確な対応 |
| 11 防犯・交通ボランティア等の結成、活動への支援 |
| 12 その他(具体的に:) |
| 13 特にない |

問28 現在お住まいの地域で最も不安を感じ、今後重点的に取り締まってほしい犯罪は何ですか。

あてはまるもの3つまで○をつけてください。

- 1 殺人、強盗等の凶悪犯罪
- 2 空き巣や車上ねらい、自転車盗などの街頭犯罪
- 3 子どもに対する声掛けやいたずら
- 4 強姦性交等罪、強制わいせつ、痴漢等の性的犯罪
- 5 なりすまし詐欺（オレオレ詐欺など）
- 6 少年犯罪
- 7 児童売春・児童ポルノ等の少年の福祉を害する犯罪や児童虐待
- 8 DV（ドメスティックバイオレンス＝配偶者間暴力）やストーカー犯罪
- 9 ヤミ金融事犯や悪質商法
- 10 インターネットを利用したサイバー犯罪
- 11 ひき逃げ事件や飲酒運転、横断歩行者妨害、速度超過などの悪質・危険な交通法令違反
- 12 暴力団等による組織犯罪
- 13 外国人犯罪グループによる犯罪
- 14 公務員等による汚職事件
- 15 麻薬、覚せい剤、危険ドラッグの売買、乱用などの薬物犯罪
- 16 不法投棄などの環境犯罪
- 17 銃器の使用・所持・密輸・密売などの銃器犯罪
- 18 東日本大震災の被災地における各種犯罪
- 19 その他（具体的に： _____)
- 20 特になし

問29 震災から9年が経過しましたが、復興に伴い治安面で身近に感じる不安は何ですか。

あてはまるもの3つまで○をつけてください。

- 1 夜の町を歩くのが怖くなった
- 2 けんか、暴力沙汰を見かけるようになった
- 3 身近に交通事故の発生がある
- 4 交通流の変化、渋滞などを目にするようになった
- 5 身近に廃棄物等の不法投棄がある
- 6 復興関連事業に関して賃金の不払いなど不適正な労使契約について耳にする
- 7 賠償金目当て等のなりすまし詐欺に不安を感じる
- 8 その他（具体的に： _____)
- 9 特に不安に感じるものはない

- ◆ このページの質問は、アンケートにお答えいただいた内容を統計的に分析するために
お尋ねするものです。最後までご協力をお願いします。

あなたご自身についてお答えください。

F 1 あなたの性別（自認する性）をお知らせください。

あてはまるものに○をつけてください。

1 男	2 女
-----	-----

F 2 あなたの満年齢をお知らせください。（令和2年8月1日現在）

あてはまるものに○をつけてください。

1 15～19歳	5 35～39歳	9 55～59歳
2 20～24歳	6 40～44歳	10 60～64歳
3 25～29歳	7 45～49歳	11 65～69歳
4 30～34歳	8 50～54歳	12 70歳以上

F 3 あなたの現在のご職業は何ですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

（複数の職業をお持ちの方は、主とするもの1つに○をつけてください）

1 農・林・漁業（農業・林業・漁業の自営者、家族従業者）
2 商・工・サービス業（小売店・飲食店・理髪店などの自営者、家族従業者）
3 自由業（開業医・弁護士・芸術家・茶華道の師匠などの自営者、家族従業者）
4 管理職（民間会社・官公庁の課長級以上）
5 事務職・専門技術職（事務職員・教員・技術者など）
6 技能職・労務職（技能工・販売店員・外交員など）
7 パートタイマー・アルバイト・フリーター・派遣・嘱託など
8 専業主婦・主夫
9 学生・生徒
10 その他（具体的に： _____）
11 無職

F 4 あなたがお住まいの市町村名をご記入ください。

（震災の影響により現在避難している方は、避難する前の市町村名）

（市・町・村）

お忙しいところ、ご協力いただきありがとうございました。

全ての質問にお答えいただかなくても結構です。 この調査票を、同封の返信用封筒に入れ、 8月4日（火） までに、 切手を貼らずに郵便ポストに投函してください。
--

